

創業者の突然死、残された若手従業員3名が力を合わせて存続へ

株式会社ヤマオカ精密

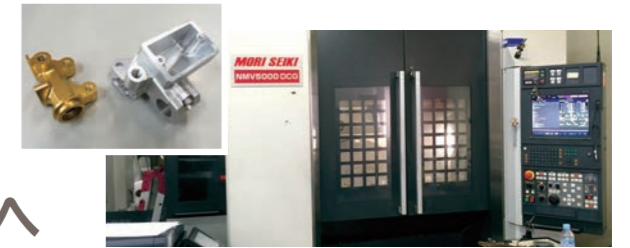
製造業

企業情報

- 代表取締役：早川 雄基
- 本社住所：大阪府守口市南寺方東通5-20-3
- 創業年：1997(平成9)年 ■設立年：2011(平成23)年
- 資本金：300万円 ■従業員数：3名
- 業種：製造業、精密切削加工



長屋工場に構える



複雑形状の加工部品

「町工場に5軸制御のマシニング導入！」をセールスポイントに受注営業へ

ヤマオカ精密は、守口市の鶴見緑地北側に位置する長屋形状の町工場に拠点を構えるが、建屋の中に入れば最新鋭のNC制御装置が並ぶ、試作品を中心とした小ロットの複雑形状部品を受注し、精密切削加工を行っている。特に、創業者が、2009(平成21)年に、他社に先駆けて導入した5軸制御のマシニングセンターを活用した加工技術は、短納期を求める取引先から評価が高い。特に、部品の削り出しで多数個取りを円滑にするため、加工プログ

ラミングや治具の準備などを独自で整備した。これにより、注文から部品加工の仕上げまで短納期で完了することが可能となっている。このノウハウは山岡氏が独自に築き上げた「ヤマオカイズム」とでも言うべきものであり、3名に承継されている。現社長の早川氏は、有名試作企業である株式会社アスク(大阪府)で働いた経験と、創業者が築いてくれた短納期への対応力「ヤマオカイズム」を売りに、営業展開している。

創業者の急逝で突然始まった事業承継

2013(平成25)年1月の寒い日、創業者の山岡義弘氏が心不全のため50歳の若さで急死した。当時のヤマオカ精密は、従業員3名で、全員が20歳代と非常に若く、創業者であり、企業の大黒柱を



創業者が見守る

失った衝撃は大きく、その失望感から仕事が手に付かない状況に陥っていた。

しかし、取引先からの受注残をかかえるなど切迫し、事業を続けるためにも仕事

をこなす必要があったため、事業承継に関する手続き等は後回しとなった。受注残を解消した段階で、会社の方向性について、3名で幾度となく話し合った。その結果、年長者であった当時29歳のA氏が事業を引継ぐ決意をし、2013(平成25)年春に1回目の親族外承継が実施された。しかし、A氏は年長であったことで代表に就任したものの、役割分担の面でやや負担が大きかった。そのため、5年の区切りを経過した2018(平成30)年8月頃、再び3名で話し合いし、一番リーダーシップを発揮している現代表の早川雄基氏にバトンタッチすることが最善策だと判断した。

2018(平成30)年10月に早川氏が3代目代表取締役に就任し、2回目の「親族外承継」を実施した。創業者の急逝に伴い、顧問税理士と相談しながら進めていた株式の整理などは、ほぼ完了しつつある。



小さな組織なので、本日中の納品といった受注にも対応する短納期である「超機動力」をセールスポイントにしている。関西以外からの受注獲得を目指し、創業者が残した素早い対応力といった「ヤマオカイズム」をより発揮していく予定である。3名が有する技術力向上への意欲をさらに進め、近隣の若手同業者と協業ネットワークを強固にすることでさらに企業を成長させていく。



事例の着眼点

- 事業承継の事前準備ができずに、残った従業員が大変苦勞したこと
- 経営相談できる外部専門家とのネットワークが不完全で苦勞したこと
- 顧問税理士と相談し、株式の整理など事業承継を順調に進めていること



事例企業が活用できる施策

- 商工会・商工会議所等の経営指導員や事業承継相談デスクへの相談
- 大阪府事業承継ネットワークの承継コーディネーターやブロックコーディネーターへの相談や専門家派遣事業の活用
- 福利厚生や税制優遇のメリットがあり、小規模事業の経営者や役員などの退職金となる「小規模企業共済制度(中小機構)」への加入